

熊本大学生協 しゃべくま



[組合員交流]

取り組み概要

日時：10/4(金),8(火)
場所：MEDICO、くすの木会館
参加者数や組合員の反応：10/4:,10/8
生協に関する意見交換が活発に行われていた。

背景や概要：もともと熊本大学生協組織部では新歓企画や留学生の交流企画は行っていたが、現状の組合員の意見を聞く場が少なかった。そのため日常の組合員の意見を聞く場として今回の企画が行われた。

組合員ってどこに存在しているの？

POINT.1

日常の組合員の意見を！



協同組合の大事な考え方として、組合員を中心に考えるということがある。その考え方から組合員を中心にみんなで出資、運営、利用のサイクルを回す必要がある。新学期活動に力を入れることが熊本大学生協組織部では多く、日常的な組合員との対話の機会がほとんど設けられていなかった。**多くの組合員の意見を取り入れることによって、より組合員の現状に沿った生協運営を行うためのいいきっかけとなった企画だった。**

POINT.2

幅広い学部を対象に！

熊本大学には8つの学部、学環が存在している。キャンパスが3つあり、それぞれのキャンパスに学部、学環が分かれて存在している。黒髪北キャンパスには文学部、教育学部、法学部。黒髪南キャンパスには工学部、理学部、情報融合学環。本荘キャンパスには医学部。大江キャンパスには薬学部が位置している。今回は本荘キャンパスにある食堂と黒髪北キャンパスにある食堂で企画を開催することができた。**キャンパス毎で開催することによって学部特有の意見をもらっていた。**幅広い視野をもって組合員と触れ合うことを意識していきたい。



POINT.3

参加者に参加特典を！



組合員の立場から考えてみると、現状としては自分が生協の運営にかかわることができる良さややりがいを実感できる組合員は少ないのではないかと。組合員交流が第一の目的ではあるがまずは組合員にこのような場に積極的に参加してもらう必要がある。**参加してもらうためにビンゴ大会を行う**など、より多くの組合員に参加してもらうことを学生委員会が主体となって考えることができているのは非常にいい取り組みであると感じた。